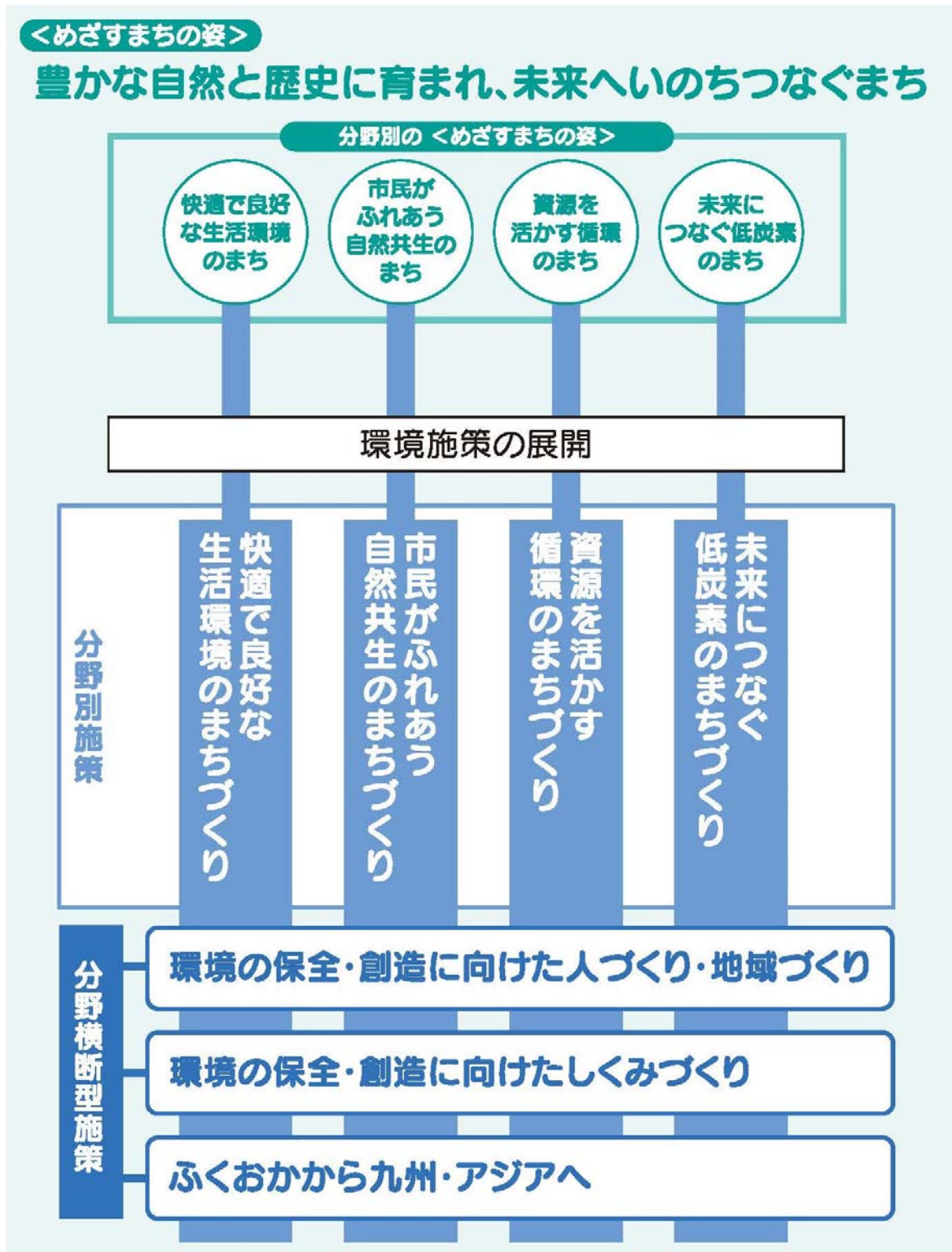


はじめに

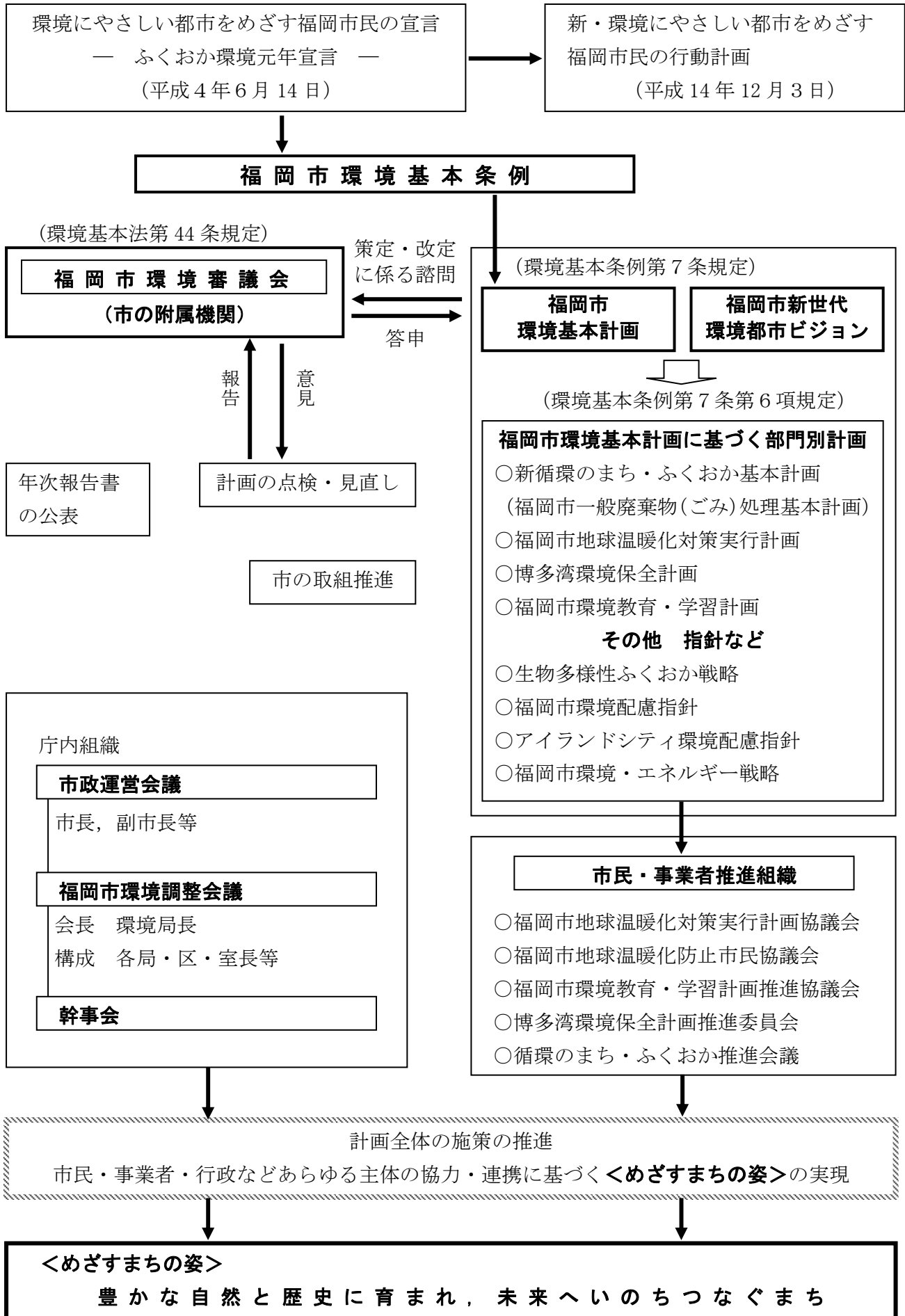
■ふくおかの環境（年次報告書）について

本書は、福岡市環境基本条例に基づき福岡市環境基本計画の施策体系に沿って平成30年度に実施した環境施策の実施状況をまとめたものです。

福岡市環境基本計画では、福岡市がめざすべきまちの姿を「豊かな自然と歴史に生まれ、未来へのちつなぐまち」とし、その実現に向けて、4つの分野別施策と3つの分野横断型施策を組み合わせて展開しています。



■計画の推進体制



「福岡市環境基本計画」(第三次)の成果指標の達成状況一覧

1. 分野別施策

成果指標	現状値(基準) (把握年度)	今回調査結果 (把握年度)	目標値 (目標年度)
第1節 快適で良好な生活環境のまちづくり			
第1項 黄砂・PM2.5などの大気汚染物質への対応			
PM2.5の予測精度	見逃し率 48.1% (2013年度)	25.0% (2018年度)	30%以下 (2024年度)
第2項 良好な生活環境の保全			
環境基準(大気質)の達成率	NO ₂ 100% (2012年度)	100% (2018年度)	100% (2024年度)
環境基準(有害大気汚染物質)の達成率	ベンゼン 100% (2012年度)	100% (2018年度)	100% (2024年度)
環境基準(自動車騒音)の達成率	95.3% (2012年度)	96.3% (2018年度)	100% (2024年度)
環境基準(ダイオキシン類)の達成率	100% (2012年度)	100% (2018年度)	100% (2024年度)
第3項 気候変動への適応			
都心部 ^(※) における緑被面積 ※都心部：御笠川～百年橋通り～高宮・大正通りで 囲まれたおおよそ3km四方、面積920haの範囲	96 ha (2007年度)	100 ha (2012年度)	103 ha (2020年度)
第4項 歴史・景観を活かした美しいまちの実現			
市民のマナーに対する満足度	31.5% (2012年度)	44.8% (2018年度)	60% (2022年度)
自転車放置率	2.0% (2018年度)	2.0% (2018年度)	現状維持 (2024年度)
第2節 市民がふれあう自然共生のまちづくり			
第1項 生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成			
全市域における緑被面積	18,864 ha (2007年度)	18,980 ha (2012年度)	現状維持 (2020年度)
農地面積 (農業振興地域の農用地区域内)	1,559 ha (2014年度)	1,553 ha (2018年度)	現状維持 (2023年度)
森林面積	11,054 ha (2010年度)	10,959 ha (2015年度)	現状維持 (2024年度)
環境基準(博多湾)の達成率	COD 62.5% (2012年度)	37.5% (2018年度)	100% (2024年度)
環境基準(河川水質)の達成率	BOD 100% (2012年度)	95% (2018年度)	100% (2024年度)
カブトガニの卵塊・幼生数	卵塊：12 幼生：63 個体 (2012年度)	卵塊：25 幼生：55 個体 (2018年度)	現状維持 (2024年度)
第2項 自然からの恵みの持続的利用の促進			
身近な緑への満足度	31.6% (2012年度)	29.9% (2018年度)	55% (2022年度)
地域の公園の親しみ度	57.7% (2012年度)	66.8% (2018年度)	75% (2020年度)
福岡市の農林水産業を守り育てていくべき だと思ふ市民の割合	75.2% (2012年度)	73.9% (2018年度)	85% (2022年度)
学校給食への市内産農産物利用割合(野菜) ※小学校における主要14品目の重量ベース	31.1% (2012～2014年度平均)	27.2% (2016～2018年度平均)	33.4% (2021年度)
背振少年自然の家延利用者数	28,737 人 (2012年度)	28,156 人 (2018年度)	30,000 人 (2024年度)

成果指標	現状値 (把握年度)	今回調査結果 (把握年度)	目標値 (目標年度)
農林業ふれあい施設年間利用者数 ・油山市民の森/油山牧場/花畑園芸公園/ 市民リフレッシュ農園 (今津・立花寺)	872,920 人/年 (2013 年度)	885,700 人/年 (2018 年度)	1,000,000 人/年 (2024 年度)
海づり公園利用者数	69,719 人/年 (2013 年度)	63,624 人/年 (2018 年度)	72,000 人/年 (2024 年度)
第 3 項 生物多様性の認識の社会への浸透			
生物多様性を理解し、その保全を意識して 行動している市民の割合	14.7% (2012 年度)	17.6% (2018 年度)	35.0% (2024 年度)
第 3 節 資源を活かす循環のまちづくり			
第 1 項 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進			
ごみ処理量	56.3 万 t (2012 年度)	57.7 万 t (2018 年度)	47 万 t (2024 年度)
ごみのリサイクル率	30.6% (2012 年度)	31.3% (2018 年度)	37% (2024 年度)
第 2 項 廃棄物の適正処理の推進			
不法投棄処理量	87 t (2012 年度)	48t (2018 年度)	39 t (2024 年度)
第 3 項 水資源の有効利用の促進			
市民 1 人あたり水使用量 (市民一人一日あたりの家事用水使用量)	201 リットル (2012 年度)	198 リットル (2018 年度)	現状維持 (2024 年度)
第 4 節 未来につなぐ低炭素のまちづくり			
第 1 項 省エネルギーの促進			
家庭部門における 1 世帯あたりのエネルギー 消費量	30.1 キロワット・時 (2006~2010 年度平均)	23.9 キロワット・時 (2017 年度)	22.1 キロワット・時 (2024 年度)
業務部門における延床面積 1 m ² あたりのエネ ルギー消費量	1.08 キロワット・時 (2006~2010 年度平均)	0.87 キロワット・時 (2017 年度)	0.88 キロワット・時 (2024 年度)
第 2 項 再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムなどの導入・活用			
再生可能エネルギーの設備導入量	11 万 1 千 kW (2012 年度)	21 万 7 千 kW (2018 年度)	30 万 kW (2024 年度)
第 3 項 低炭素型の都市構造及び交通体系の構築			
1 日あたりの鉄道・バス乗車人員	112 万 1 千人 (2012 年度)	128 万 8 千人 (2017 年度)	120 万人 (2022 年度)
公共交通の便利さへの評価	77.4% (2012 年度)	79.5% (2018 年度)	現状維持 (80%程度を維持) (2022 年度)
都心部への自動車の流入台数	88,600 台/12 h (2013 年度)	85,700 台/12 h (2018 年度)	87,000 台/12 h (2022 年度)

2. 分野横断型施策

成果指標	現状値 (把握年度)	今回調査結果 (把握年度)	目標値 (目標年度)
第 1 節 環境の保全・創造に向けた人づくり・地域づくり			
第 1 項 環境行動を担う人材の育成			
環境教育・学習人材リスト登録者数	44 人 (2013 年度)	52 人 (2018 年度)	80 人 (2024 年度)
第 3 節 ふくおか から九州・アジアへ			
第 2 項 国際環境協力の推進			
視察・研修受入人数	602 人 (2011 年度)	1,375 人 (2018 年度)	1,700 人 (2022 年度)

平成30年度 環境に関する主な事業実績

	主な事業実績	生活環境	自然共生	循環	低炭素	分野横断
4月	緑のカーテンプロジェクト 2018 開始	○			○	
	資源物持ち去り防止対策の実施（パトロールなど）			○		○
	E C Oチャレンジ応援事業 募集開始				○	○
	エコ発する事業 補助申請受付開始					○
	エコ・ウェイブ・ふくおか会議開催（4月19日）				○	
5月	次世代自動車普及促進事業 電気自動車等購入及び電気自動車用充電設備設置助成 募集開始				○	○
	住宅用エネルギーシステム導入促進事業 募集開始				○	○
	暮らし安心・適応リノベーション促進事業 市民モニター募集開始	○			○	○
	夏期の省エネ対策（エコスタイル等）開始（5月1日～10月31日）				○	
	緑のカーテン育て方講座の開催（5月8日、9日、14日、15日）				○	
	第1回福岡市熱中症対策推進本部会議開催（5月18日）	○				
	福岡市地球温暖化防止市民協議会総会開催（5月21日）				○	○
	生きものと私たちの暮らし展開催（5月21日～24日）		○			
	福岡市保健環境研究委員会（環境部会・廃棄物部会）開催（5月28日）					○
6月	公害防止総点検運動実施（6月1日～30日）			○		○
	第9回福岡市環境行動賞 表彰式開催（6月8日）					○
	ラブアース・クリーンアップ 2018 開催（6月10日）			○		○
	次世代自動車展示会（6月17日）				○	○
	第1回事業者向け省エネ講習会開催（6月20日）				○	
	被災建築物のアスベスト調査に関して、（一社）建築物石綿含有建材調査者協会と協定を締結（6月26日）	○				
7月	緑のカーテンコンテスト 応募受付開始	○			○	
	市政だより「夏の省エネ対策特集号」配布				○	
	事業所省エネ計画書制度 参加事業所募集開始				○	
	クールシェアふくおか 2018 実施（7月1日～9月30日）	○				
	「熱中症&福岡市の大気」パネル展開催（7月3日～9日）	○				
	「熱中症予防」パネル展開催（7月9日～31日）	○				
	エリアマネジメント団体との共働による打ち水イベント実施（博多：7月19日）	○				
	暮らし安心・適応リノベーション促進事業 複層ガラス等への改修の効果が分かるパネル展（7月23日～26日）	○				○

	主な事業実績	生活環境	自然共生	循環	低炭素	分野横断
8月	地域ぐるみ清掃実施（8月1日～10月31日）	○				
	エリアマネジメント団体との共働による打ち水イベント実施（天神：8月3日）	○				○
	福岡市保健環境研究委員会開催（8月3日）					○
	第1回博多湾環境保全計画推進委員会開催（8月7日）		○			○
	ライトダウンキャンペーンとして子ども向けワークショップを実施（8月7日）	○			○	
	下水道フェア開催（8月19日）					○
	福岡市環境教育・学習計画推進協議会開催（8月21日）					○
	福岡市地球温暖化対策実行計画協議会開催（8月29日）				○	
9月	福岡市環境審議会・循環型社会構築部会開催（9月3日）			○		
10月	モラル・マナー向上市民運動2018実施	○				
	福岡市環境審議会総会開催（10月2日）					○
	東アジア経済交流推進機構環境部会参加（10月11日）					○
	地球温暖化防止シンポジウム開催（10月20日）				○	
	環境フェスティバルふくおか2018開催（10月20・21日）					○
	次世代自動車展示・試乗会開催（10月20・21日）				○	
11月	福岡市PM2.5・黄砂影響検討委員会開催（11月22日）	○				
	室見川水系一斉清掃実施（11月25日）		○			
	福岡市環境審議会・循環型社会構築部会開催（11月28日）			○		
12月	冬期の省エネ対策開始（12月1日～3月31日）				○	
	暮らし安心・適応リノベーション促進事業 複層ガラス等への改修の効果が分かるパネル展（12月3日～6日）	○			○	○
	第2回事業者向け省エネ講習会開催（12月19日）				○	
1月	第7回循環のまち・ふくおか推進会議（1月24日）			○		
2月	「福岡市花粉飛散予測情報」提供開始（2月6日）	○				
	福岡市環境審議会総会開催（2月7日）					○
	暮らし安心・適応リノベーション促進事業 住まいの見学会（2月7日）	○			○	○
3月	エコ発する事業活動報告会実施（3月19日）					○